

平成 27 年度宗像市災害図上訓練の概要

28.1.20





1 訓練の目的

大規模災害発生時の災害対策本部の基本的・実地的な災害対応について訓練し、実災害発生時の迅速かつ円滑な対応の強化並びに関係機関との情報共有・連携強化を図る。

2 日 時

平成 28 年 2 月 13 日 (土) 8:30 ~ 12:30

【時間計画】

8:30  10:30  11:00  12:00  12:30
訓練実施 (準備) 振り返り (予備)

3 場 所

宗像市役所 (各部課執務室、第 2 委員会室、第 304 会議室等)

4 参加機関、参加範囲

(1) 市役所

第 2 配備対象職員、一部の避難所担当職員を含む。

(2) 関係機関 (陸上自衛隊、宗像警察署、消防本部、消防団、北九州県土整備事務所 その他)

ア 状況付与及び訓練部からの電話・FAX 対応等に必要の人員を確保する。

イ 参加が得られない重要関係機関については市職員等により代行する。

5 訓練の狙い

(1) 過去 3 年間に於いて会議室に集まり図上訓練を実施したが、本訓練においては訓練場所を各執務室とし、実災害発生時の対応を考慮したより実地的な訓練を行う。

(2) 本訓練実施までに市災対本部活動マニュアルを特に各種情報の円滑な授受、処理の観点から再検討し、本訓練においてその検討案の妥当性について検証を行う。その一部として市全般状況室を設け、各部所掌業務に関わる被害状況等を最新状態に整理し掲示する。

(3) 本訓練においては評価班を設けて客観的な評価を実施することにより、本訓練の成果及び問題点等を明らかにする。

【評価の重点】

確実な情報処理

他班との連携の保持

市全般状況室掲示情報の最新化

(4) 本訓練実施間に停電及び非常電源の自動起動の状況を作とし、現非常電源の有効性及び停電発生から非常電源起動にかかわる各部課業務への影響を確認する。

6 訓練想定

各部課の基本的な災害対応を訓練するため大雨対応のみの想定とする。

【線状降雨帯による長時間の大雨により市内の至るところでがけ崩れとそれによる家屋損壊・床上浸水等が発生し、大規模かつ迅速な救出活動・救急救命活動が必要となる状況。】

7 訓練実施要領

- (1) 訓練開始時の態勢：朝 X 時に大雨洪水警報が発令され、市役所は第 2 配備を完了。
- (2) 災害状況は状況付与係が電話・F A X・実動等により各部に付与する。
- (3) 各部は他部、関係機関等と必要な調整を実行動で行うものとし、関係機関の電話先番号・F A X 番号等は訓練用のものを設ける。状況により関係機関の要員が各部課事務室等において実調整する。なお訓練実施間に防災関係機関の情報共有・通信手段にかかわる調整を行う。
- (4) 自衛隊、警察、消防等の代表者を市災害対策本部会議に参加させる。
- (5) 統裁室を設け、統裁部が訓練実施部への状況付与・調整等を一括して実施する。
- (6) 訓練終了 3 0 分後、『振り返り』を行う。

「訓練実施部所見」「評価班所見」「市長講評」等

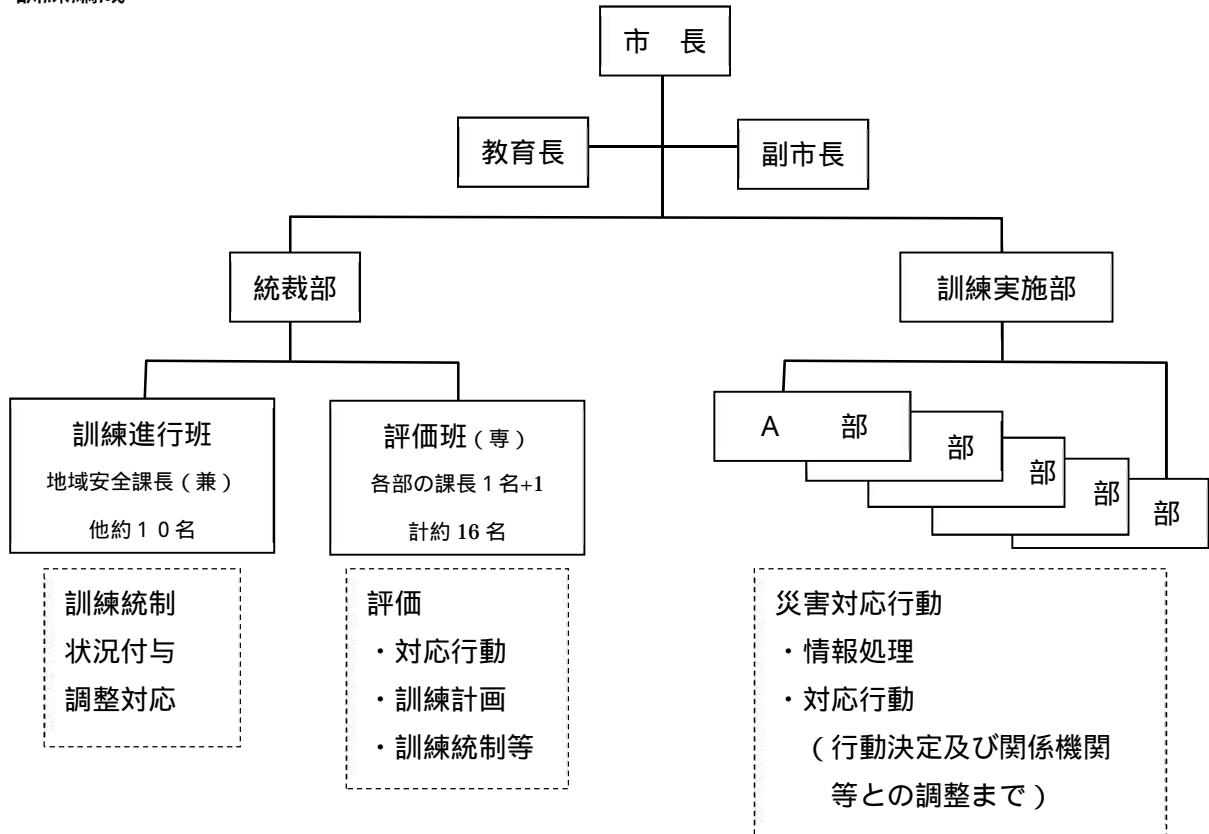
8 服装等

- (1) 統裁部：通常の服装にビブス着用
- (2) 訓練実施部：通常の服装とするも訓練にふさわしい服装

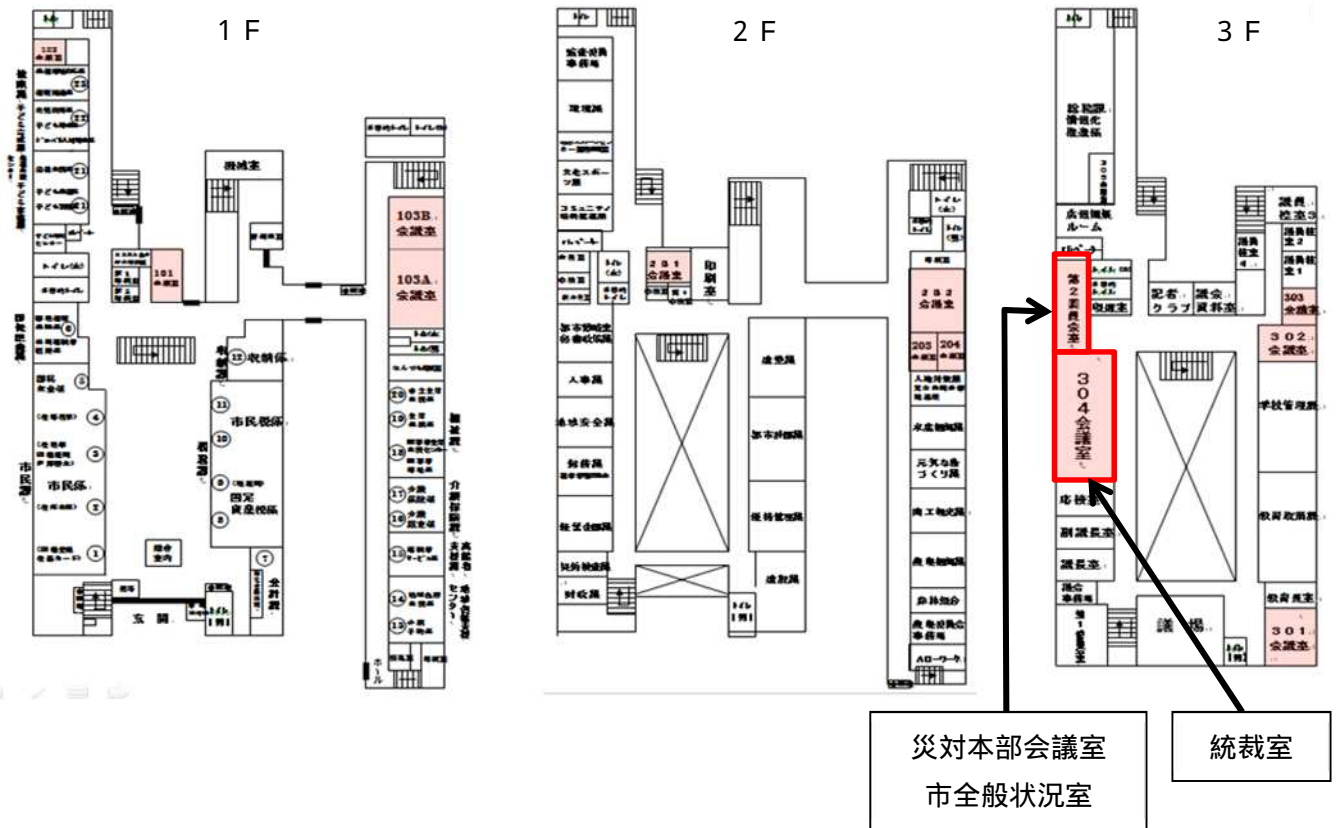
9 その他

訓練当日、気象警報の発令等があった場合は状況により訓練を中止（延期）する。

10 訓練編成



11 訓練会場の配置



上記の他、各部課は各執務室を使用